

石 二 小 だ よ り

第18号 平成28年6月22日(水)発行 文責:鈴木

【電話】0244-22-2724【ホームページ】http://www.minamisoma.gr.fka.ed.jp/?page_id=145

平成28年度重点目標「考えをつたえ合おう」

校外学習に行ってきました!



17日(金)には、それぞれの学年で校外学習に出かけました。1・2年生は八木山動物園へ、3・4年生は角田市の台山公園へ、5年生はアグリパークへ、そして6年生は松島方面へ行って来ました。

そのうち6年生は、5年生の盛大な見送りを受けて学校を出発し一路常磐道を北へ進み、まず最初に松島に到着しました。雨が上がって太陽が顔を出し、暑いぐらいの日になりました。ここでは班別行動で

す。松島を代表する有名な国宝の瑞巖寺をはじめ、円通院、観瀾亭などの歴史的な建造物、伊達正宗歴史館や松島レトロ館、そして仙台名物の蒲鉾店などを自分たちで計画を立てて周り、最終ゴール地点は五大堂前の広場でした。どの班も、時計を見ながら時間に遅れずに集合することができました。

ここから船に乗り換えて、松島を海から楽しみました。船上では、いくつもの珍しい形の島の名前や由来などの放送を聞きながら、日本三景の一つである松島を堪能しました。最初はのんびりゆっくりと船は進みましたが、沖に出るにつれてスピードもアップして結構な揺れがあり、デッキに出ると波しぶきがかかるほどでした。でも、それはそれでとても楽しかったです。

昼食後は、多賀城にある東北歴史博物館に向かいました。6年生は、社会科でちょうど歴史の学習をしているところなので、旧石器時代から近現代までの仙台を中心とした東北地方の推移は、とても勉強になったと思います。土器や石器、貝塚、城跡、戦で使われた武器や当時の書物など、興味深いものがたくさん展示されていました。また、館内の歴史と災害・学びのシアターで、映像とクイズで楽しむことができました。

他の学年でも、けがや事故がなく無事に行ってきたことができました。それぞれに楽しい思い出ができたことでしょう。予報では天気があまり良くない感じで心配でしたが、取り越し苦労に終わり何よりでした。きっと、石神二小の皆さんの日頃の行いがよいからですね。 <<裏面もご覧ください>>



◆ 本校の通級指導教室のお便りに次のような記事が載っていました。読んでみると、他の子どもたち（特に低学年）にも当てはまることが多いのではないかと思いますので紹介します。

「こんな言葉を多用していませんか？」

「しっかりやろうね。」「ちゃんと書こう。」「仲良くしようね。」

「しっかり」って？ 「ちゃんと」って？ 「仲良く」って？ 具体的にはどのようなことをすればいいのでしょうか。その場面場面、指導の内容によって変化することです。ASD（広汎性発達障がい、アスペルガー症候群など自閉症スペクトラム群など）傾向のお子さんにとっては、何のことやらさっぱり。ASDの三大症状「想像力の欠如（相手の気持ちを想像できない。パターンを好み予想外のことに苦痛を感じる。）」「社会性の欠如（他者との関わり方の奇妙さ）」「コミュニケーションの障がい（年齢にそぐわない会話など）」があります。

「しっかり」「ちゃんと」の言葉の裏に込められた指導者（保護者）側の意図を読み取れるおさんは少ないものです。何をどうすれば「しっかり」できたと言えるのかを示す必要があります。少年院で監察官として指導された方の話を聞く機会がありました。「ちゃんとシャツをしまいなさい。」といった指示でシャツをしまえるような少年は少ないそうです。「シャツの裾を持って、ズボンの中にしまおう。」と、してほしい行動を明確に指示して、穏やかにやって見せるそうです。怒らずにやって見せる。やらせてみる。・・・分かっているけど、なかなかできないことです。

